

第 719 回

クローズアップ

この会社のココに注目!

豊橋支店発



アイデアにより当社を牽引する松倉社長

山口化成工業（株）

(TDB企業コード 440072551)

(法人番号 2180301010463)

生活に身近すぎる発泡スチロール

「白くて軽く、石油からできた緩衝材、保温材」一辞書を使わずに発泡スチロールを説明すると、こんな表現となるだろう。

正確に特徴を伝えると、合成樹脂素材であり、気泡を含ませたポリスチレンで体積の約 98% は空気からできている。石油製品の原料ビーズは 2% 程度で、目の前にある発泡スチロールがどんなに大きくても、そのほとんどは空気できており、極めて省資源でエコな製品と言える。そのリサイクル率は 90% に達すると聞けば、発泡スチロールに対するイメージは大きく変わるだろう。仮に燃やしても、完全燃焼させると発生する物質は炭酸ガス (CO₂) と水 (H₂O) で、不完全燃焼の場合でも黒煙や一酸化炭素は発生するものの、ダイオキシンなどの有害ガスは発生しない。製品を膨らませるために使用する発泡剤 (ガス) はブタンやペンタンなどの炭化水素製品で、オゾン層に悪影響を与えるフロンは一切使用されていないのだ。その特性は、断熱性と緩衝性に優れているほか、「水を通さない」「軽い」「成形しやすい」などが挙げられ、用途は多岐に亘っている。

当社は、昭和 28 年 2 月に製紐業として創業したが、その後発泡スチロール資材製造に進出し、現在に至っている。工業用製品に用いられているほか、それらの梱包用資材としても利用されている。だが、製品需要自体は減少傾向で、

市場規模やメーカー数ともに右肩下がりとなっているのが現状だ。

新たな用途を見いだして社会貢献

業界自体が縮小傾向となっているため、当社としても生き残りを懸け、新たな需要の掘り起こしに注力している。その一つが、熱可塑性ビーズ発泡ポリウレタンを素材とした製品だ。医療・介護分野へ参入し、車椅子のトップメーカーや素材メーカーと共同で「車椅子用ノーパンクチューブ」を開発した。文字通りパンクとは無縁で、空気を注入するチューブと変わらない乗り心地を実現し、我々の生活に非常に身近な製品である。高齢者や障がい者、療養中の方などにとって、チューブタイヤがパンクした際の対応は健常者以上に困難な作業だ。パンクしないことは高い優位性ととも、大きな訴求材料として市場で認識されるはずだ。

発泡ポリウレタンの特長は軽量で成型しやすいこと。ちょっとしたひらめきが、多くの課題を解決でき、暮らしに役立つ無限の可能性を秘める製品を生み出すのだ。(取材・豊橋支店)

会社概要

山口化成工業(株)

本社:豊川市御津町広石五反田 34

電話:0533-76-3105

代表:松倉 利夫氏(1954年、愛知県出身)

業種:発泡スチロール製品製造 従業員:22名

資本金:2000万円 設立:1966年9月

年売上高:約3億600万円(2017年6月期)

URL:<http://yg-kasei.co.jp/>